

施策評価シート (平成23年度の振り返り、総括)

作成日 平成24年 04月 06日

施策 No.	37	施策名	勤労者福祉の充実
主管課名	商工観光課	電話番号	0285-83-8134
関係課名			

施策の対象	市内の就労者 (2次3次産業就労者)								
対象指標名	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	26年度見込
就労者数 (2次3次産業)	人				38,620 (H17)	41,235 (H21)	41,235 (H21)	41,235 (H21)	41,248

施策の意図	勤労者福祉の充実を図る。								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法 (算定式など)	<ul style="list-style-type: none"> 対象指標については、平成21年国勢調査の数字とし、20年度からは旧二宮町分を加算した数としている。 対象指標の26年度見込については、国勢調査平成12年38,607人、平成17年38,620人であり、増減率の100.03%により算出。 各年度の成果は、翌年4～5月の市民意向調査実施結果による。 								
成果指標名	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	26年度基本計画目標値
真岡市は働きやすい環境だと感じている就労者の割合	%				81.9	80.7	79.6	76.5	83.0

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 福利厚生は、本来、事業者が取り組むべきものであるが、中小企業では独自の取り組みが難しいため、支援を行う。 事業主は、市の福利厚生事業への参画・協力、従業員へのPRなどの役割がある。従業員は積極的に利用することで、ゆとりと安らぎを得る。 行政は、福利厚生事業の利用を促進する。 								
-------------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

<p>23年度の 評価結果</p>	<p>1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）</p> <p>(1) 施策成果の時系列比較（過去3年間の比較）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災、円高の影響など景気低迷により、有効求人倍率も大変厳しい状況にあり、「真岡市は働きやすい環境だ」と感じている就労者の割合は76.5%と若干低下した。 ・第4工業団地分譲は完了。第5工業団地、大和田産業団地への企業誘致により、働く場を確保し、住環境整備は土地区画整理事業等で推進している。 ・元気アップ支援事業については、20年度:182人、21年度:282人、22年度:236人で、23年度:256人利用が増加している。 ・勤労者研修交流施設（チャットパレス）の宿泊者数は、20年度:14,519人、21年度:13,972人、22年度:13,443人、平成23年度:11,635人であった。20年度以降は、景気の低迷により減員となっており、特に平成23年度は、3月11日の東日本大震災による影響で減員となった。 <p>(2) 近隣他市との比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「勤労者宅地・住宅融資制度」については、県内14市中8市が実施している。各市とも数年新規貸付がないことにより、制度の見直しを行っている。（この制度を廃止した市は、宇都宮市、日光市、大田原市、下野市、那須烏山市、さくら市の6市） <p>(3) 住民期待水準との比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民意向調査において、「真岡市は働きやすい環境だ」と感じている就労者の割合は21年度:80.7%、22年度:79.6、23年度:76.5%と低下傾向にあることから、一層の勤労者福祉の充実を推進していく必要がある。
	<p>2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勤労者研修交流施設（チャットパレス）の管理運営については、18年度から「もおか鬼怒公園開発株式会社」を指定管理者として、協定締結している。 ・「中小企業勤労者元気アップ支援事業」については、協定宿泊施設を23ヶ所と増やすことで、勤労者等の宿泊利用に対しての助成を行った。 ・就労者と行政の対話の場として、「勤労者懇談会」を実施した。 ・真岡工業団地総合管理協会、真岡産業振興会や商工タウン管理協会を通じ、勤労者に対する福祉事業や貸付制度の周知を行い、勤労者福祉の支援を図った。 ・勤労者表彰については、市内企業の優秀社員9人（S33年から累計1,423人）、技能検定合格者21人（S62年から累計598人）を表彰し、勤労及び技能習得の意欲増進を図った。

23年度の 評価結果	3. 施策の課題認識と改革改善の方向
	<ul style="list-style-type: none">・ 勤労者研修交流施設（チャットパレス）のPRを図り利用増進を図る。・ 中小企業事業者及び勤労者に対し、「中小企業勤労者元気アップ支援事業」の周知により利用促進を図る。・ 勤労者の意見や要望を把握するために、勤労者懇談会を開催し、それら課題等の改善を図る。・ 真岡産業振興会や商工タウン管理協会との連携を図り、勤労者福利厚生事業を推進する。・ 中小企業勤労者のための融資制度の利用が少ないことから、見直しを含む制度全体のあり方の検討を進める。
補足事項	